

びかいのトラ

【特集】市民インタビュー
**次世代に残したい自然
守る活動が生きがいに！
稲荷緑地の会**

P2

No.127

令和元年（2019年）
11月1日発行
（通巻236号）

- 平成30年度決算審査 P4
- 審議した主な議案
 - 市長提出議案 P10
 - 議員提出議案 P11
 - 議決結果一覧 P12
- 市政について問う
 - 《一般質問》 P14
- 議会活動報告 P23

次

世代に残したい自然 守る活動が生きがいに！ 稲荷緑地の会

稲荷緑地は羽村第一中学校から羽村東小学校までの斜面で、青梅から調布に連なる多摩川河岸段丘の一部。貴重な緑として市民ボランティアの手で整備・保存されています。

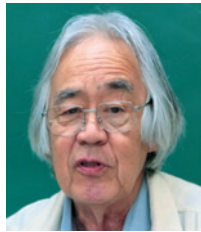
崖線の緑地は、貴重な景観

吉澤 則明さん・会長（76）



稲荷緑地は、多摩川沿いに残る崖線の宅地開発を防ぎ、緑地保全の目的で東京都が取得しています。羽村市が許可を得て市民ボランティアの手で樹木の伐採や、下草刈りなどを始めたもので「稲荷緑地の会」が発足して12年になります。以前は昼でも薄暗く、ごみ捨て場のような場所でした。

大崎 玄さん（76）



古代からの多摩川が、水木公園の五ノ神崖線、市役所付近の小作崖線、この羽村崖線と削り取ってきた。環境関係の審議会にも関わり、自然に触れられる貴重な景観を守りたくて、整備をしています。

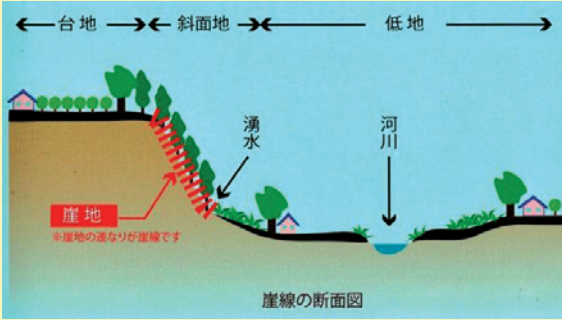
小嶋 はるかさん（73）



市の事業に関心を持ち、「環境まちづくりの会・自

には市の鳥であるアオバズクをはじめ、45種の野鳥が確認できました。巣箱も10か所に設置し、アラ

イグマやハクビシンの動態調査で東京都が無人カメラを設置しました。



▲多摩川崖線は自然の地形を残し、動植物に触れられる、貴重な緑地



▲羽村駅に向かう生活道路として利用されている

稲荷緑地の会

- 目的** 稲荷緑地の整備・保存
- 活動** 剪定・下草刈り・植樹・木道設置・動植物の調査、研修など
- 発足** 2007年(平成19年)
- 会員** 14人(年間活動15回・参加人数延べ107人)
- 予算** 東京都「緑の募金公募事業」交付金(15万円以内)
- 連絡先** 042-555-6658 吉澤



▲間伐材を利用して遊歩道も整備



▲環境フェスティバルで活動を展示、苗を配ってPR



保育園児も楽しそうに歩く▶

目に見える成果が楽しい

吉澤 毎月第2金・土曜日、午前9時から正午の作業。会員は14人。春は植樹、夏は下草刈り、秋は落ち葉の清掃など四季の変化を実感できます。

住吉 この会にプロはいなくて、見よう見まね。太さ20cmくらいの木なら切り倒せるようになりました。付近は縄文遺跡があり、土器のかけらを見つけることもある。

卯西 環境フェスティバルでは、崖線の保全を展示。育てたシロヤマブキの苗を配って活動をPRしました。野鳥にも興味を持っていただけました。

自然から学べるボランティア、若者参加に期待

大崎 課題は、市全体の緑の面積が宅地開発などで年々減少していること。稲荷緑地に「春秋の七草エリアがあれば女性の参加も増える」と市民提案型事業で応募しましたが「土の掘り返し、工作物は禁止」と採択されませんでした。もっと自由にできないものかな。

杉本 年間15万円の東京都の交付

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は経済委員会が担当しました。

【表紙の写真】
稲荷緑地の会の皆さんと
ボランティアの方々
(令和元年9月13日撮影)

杉本 晋吾さん（71）



10年ほど前、国際電気の地元貢献としてボランティア参加して以来、退職後も続けています。技術屋だったので伐採など初めての体験。慣れた今は瑞穂町の自宅周辺の美化に役立っている。作業翌日は体中痛みますが、緑地への愛着は強いので続けています。

卯西 邦雄さん（78）



都の鳥獣保護管理委員も務めており、「はむらの野鳥ガイド」図鑑制作に参加しました。稲荷緑地

インタビューを終えて

風が爽やかに吹き抜け、遊歩道も整備された稲荷緑地。以前は樹木・雑草が生い茂り昼でも薄暗く、ごみ捨て場にもなっていた。整備活動から12年。スタート時の仲間たちが次世代に引き継ぐべく、新たなボランティアに期待している。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

平成30年度決算を

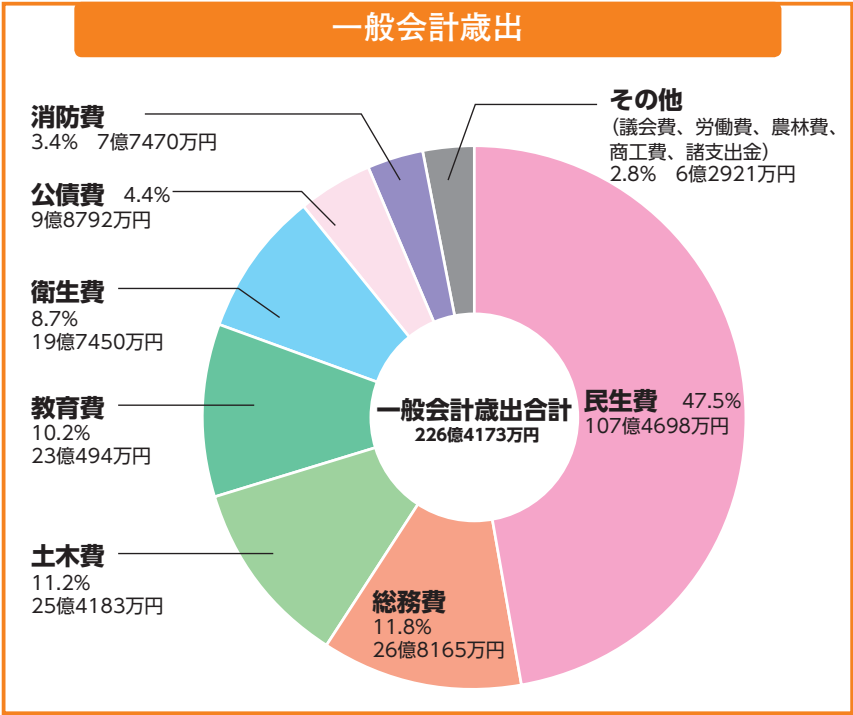
認定

依然として厳しい財政状況
行財政改革を着実に進め、安定的な財政運営を

9月17日～19日の3日間にわたり、平成30年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（水野義裕委員長、濱中俊男副委員長）
市長から提出された前年度の一般会計、5つの特別会計、水道事業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。
その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。最終日の本会議で審査結果を報告し、7つの会計すべてを原案のとおり認定しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。

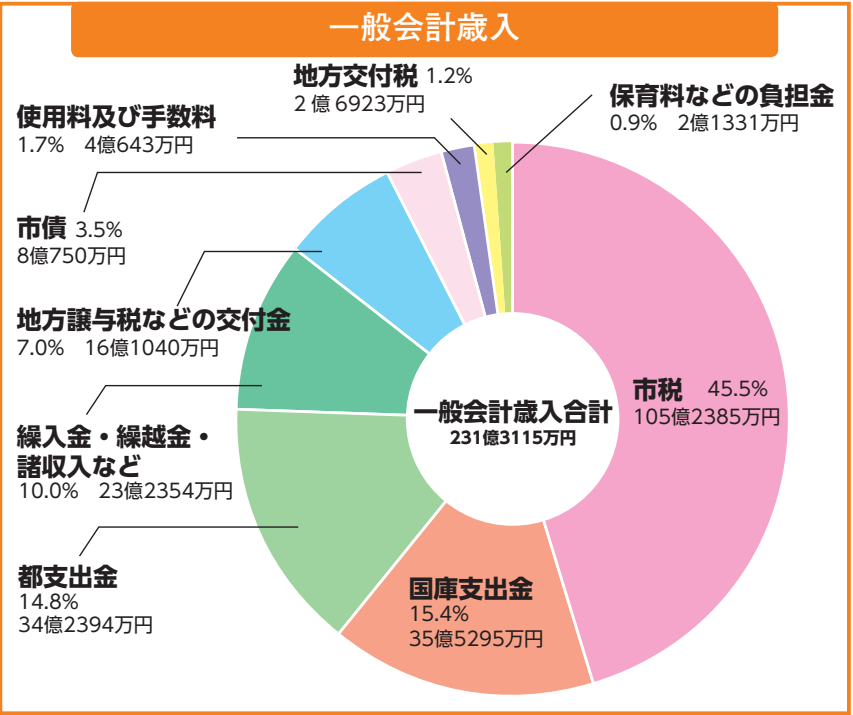
■平成30年度一般会計歳出の概要
前年度比は1.1%の減

一般会計の歳出総額は、衛生費や羽村第一中学校防音機能復旧工事費などの教育費が増加した一方、総務費や民生費、土木費などが減少したことにより、前年度に比べて2億4772万円（1.1%）の減額となりました。



■平成30年度一般会計歳入の概要
前年度比は1.2%の減

一般会計の歳入総額は、前年度に比べて2億9225万円（1.2%）の減額となりました。
主な財源である市税は、105億2385万円で、個人所得の増加や大手企業の好調な業績により、前年度と比べ2億7142万円の増額。歳入全体に占める市税の割合は45.5%で、前年度より1.7ポイント増加しました。



■平成30年度の主な施策

【子ども・生涯学習関係】

- 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金交付事業の実施
- 中学校が「新たな3学期制」へ移行

【福祉・健康関係】

- 市内3か所全ての地域包括支援センターを委託化
- 「福祉作業所スマイル工房」の施設整備の支援

【市民生活】

- 被災者生活再建支援システムの導入

【産業振興】

- 企業誘致奨励金制度の充実
- 台風24号により被災した農業用施設等の再建を支援

【環境・都市整備関係】

- 動物公園のエントランス前にシンボル看板を設置

【道路整備】

- 羽村駅自由通路拡幅工事の完了、東口階段改修工事に着手

【行財政運営】

- 行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直し

【公共施設整備】

- 富士見小学校のトイレ洋式化工事
- 羽村第一中学校防音機能復旧（機器取替）工事の実施

【東京2020大会】

- キルギス共和国男子柔道ナショナルチームの事前キャンプを受け入れ

【市史編さん】

- 「近世編」と「自然編」の刊行

【地方公会計】

- 連結財務書類や施設別の財務書類の作成

■平成30年度会計別決算状況

（単位：万円）

区 分		予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出 差引額
一般会計		2,317,631	2,313,115	99.8%	2,264,173	97.7%	48,942
特別会計	国民健康保険事業	631,574	631,426	100.0%	615,697	97.5%	15,729
	後期高齢者医療	124,436	124,789	100.3%	121,966	98.0%	2,823
	介護保険事業	369,250	360,516	97.6%	352,817	95.5%	7,699
	羽村駅西口土地区画整理事業	125,581	121,526	96.8%	113,404	90.3%	8,122
水道事業会計	下水道事業	124,035	124,140	100.1%	120,463	97.1%	3,677
	収益的収入	113,343	112,730	99.5%			収益的収支 29,457
	収益的支出	85,173			83,273	97.8%	
	資本的収入	12,734	12,671	99.5%			資本的収支 △ 59,237
	資本的支出	72,639			71,908	99.0%	

※水道事業会計については、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

質疑

一般会計歳入

Q 市民税法人分が平成29年度より2億9753万1600円増加した要因は。

A 市内の大手企業の業績が堅調に推移し、中小企業においても好調な業績であったため。

Q 平成30年度の経常収支比率は100・7%。今後の予想と目標数値は。

A 令和元年度の当初予算で算出すると104・0%。安定的に100%をきることを目指す。

Q 土日開庁の収納額は、施策の開始当時より半減し、取り扱い件数も年々減少している。土日どちらか1日とすべきではないか。

A 土日に窓口が開庁していることによって、直接相談できることの大切さもある。事務事業の総点検・見直しの中で今後、土日の窓口のあり方を検討していく。

Q 市町村土木費補助金の約1億2750万円はどのような事業に充てるために獲得できた補助金か。

A 街路灯を新設する際の設置費、道路の補修工事や舗装の構造等をチェックするFWD調査委託、羽村駅自由通路の改修に伴う補助金である。



新しかった動物公園のエントランス



拡幅された羽村駅自由通路



LED化した街路灯



建替えられたしらうめ保育園



リサイクル品が並びリサイクルセンター



福祉作業所スマイル工房

一般会計歳出

子育て

Q 乳幼児全戸訪問は、訪問率が5%下がったが、訪問できなかった家庭へのアフターフォローはどのように図ったか。

A 健診時に確認し、健診に来ない場合は、さまざまな調査により状況把握している。

Q しらうめ保育園の園舎建替えで、市として力を入れたことは。

A 耐震等、安全・安心な環境を整備し、定員数を見直し、経費の削減に努めた。

福祉

Q 骨髄ドナー支援事業助成金の、ドナーと事業所への支給額は。

A ドナー提供者は1日2万円、事

業所は1日1万円を、それぞれ7日を上限に助成している。

Q 自立支援相談事業の中で、ひきこもり問題へとつながったケースはあったか。

A 他の相談を受けている中でひきこもり問題への対応が必要になったケースが7、8件あった。就労につながったケースもあった。

消費生活

Q 消費生活相談の件数が大幅に増えている理由は。

A 「特殊詐欺」の相談が昨年夏に多かったため。

Q リサイクル品販売事業について、日常的にもっとPRしてはどうか。

A 広報はむら9月1日号でPRした。今後もホームページや広報を通じてPRしていく。

委員の意見(一般会計)

反対

今こそ、区画整理事業を見直すべき

学校と家庭の連携推進事業の拡充、福祉作業所スマイル工場の施設整備支援、街路灯のLED化など評価できる施策の前進がある一方で、多くの市民が反対する羽村駅西口区画整理事業への支出がされている。

財政の厳しい状況が続く中、今こそ羽村駅西口区画整理事業のあり方を根本から見直すべきである。

<日本共産党>

賛成

安定的な財政運営の早期確保を望む

歳入は、好況な大手輸出企業の牽引で市民税が2億7千万円の増加となった。

歳出は、しらうめ保育園の施設整備、羽村第一中学校の防音機能復旧工事、認定農業者制度の推進、羽村駅自由通路の拡幅整備事業、動物公園のリニューアル工事等が行われ、市民福祉の向上が認められる。安定的な財政運営を早期に確保することを望み、賛成する。

<令和かがやき>

反対

区画整理事業の予算、期間、手法に無理がある

富士見小学校のトイレ改修やスマイル工場の施設整備など、評価できる施策もある。

しかし、羽村駅西口区画整理事業に6億5347万5千円が支出され、関係住民の合意もなく、事業の予算、期間、手法に無理があり、認定できない。行財政改革の視点から、土日開庁もどちらか1日に集約すべきである。

<市民ネットワーク>

賛成

経常的収入の安定的確保に取り組むべき

厳しい財政運営で、臨時財政対策債は5億5150万円と大きな額を発行して執行し、経常収支比率は、3年連続で100%を超えている。

行財政改革を着実に進め、経常的収入の安定的確保に取り組む必要がある。行政のスリム化を進める中で、無駄を省くのはもちろんであるが、代替案もしっかり示し、市民サービスへの影響は最小限に留めることを望む。

<公明党>

反対

区画整理事業を最重要施策とする市政の矛盾

臨時財政対策債を除いた経常収支比率は105.5%で全国平均より高く、土地区画整理事業を最重要施策とする市政の矛盾である。

人口増加を掲げた創生計画の4年目でも人口が減少している。子育て雑誌へ4千万円かけて広告掲載したが効果は不明。事業に対するPDCAサイクルの徹底を求める。

<世論>

賛成

財政の健全化に努め市民福祉の向上を

市税収入が大手企業の好調な業績を背景に増加したものの、経常収支比率が3年連続で100%を超え、依然厳しい財政状況にある。その中で、第五次長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業に積極的に取り組んでいる。

全事務事業の点検・見直しをはじめとした行財政改革の取組みを強力に実行し、財政の健全化に努め、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。

<新国会>

くらし

- Q** 電気料削減のため、街路灯をLED照明に切り替えを進めてきたが、平成30年度の効果額は。
- A** 平成29年度からの1年間で168万3千円の効果が出ている。
- Q** マイナナンバーカードによるコンビニでの証明書等の交付件数と一通あたりの経費はいくらか。
- A** 交付件数は883件で、1通あたりの経費は9260円。
- Q** 東京2020大会を控え、道路案内標識の改善は30年度どう進んだか。
- A** 全箇所を調査し、必要な箇所を抽出した。道路の愛称名板は、シールを貼る変更作業を行った。
- Q** 羽村市自転車等に関する施策検討委員会ではどういったことを検討したのか。
- A** 3回実施し、自転車等駐車場の有料化に向けて諸課題などの検討をしている。なるべく早い有料化に向けて、令和元年度も検討していく。

シティプロモーション

- Q** 基本方針でシビックプライドの醸成を掲げていたが、強い意志を持って市の魅力を発信していただけの方を確保できたか。
- A** 市民記者やむら家族プロジェクトなどの事業を展開し、関わっていただける方を増やすことで醸成していきたいと考えている。
- Q** シティプロモーションの地域ブランド調査の2018年度の羽村市の結果は。
- A** 認知度は、全国694位、都内50自治体中49位。魅力度は全国964位、都内50位。



変更した道路愛称名板

産業

- Q** ハローワークとの連携事業で、「出張ハローワーク」や合同就職面接会、セミナーの参加者で就業につながった人数は。
- A** 就業者を把握できる5つの事業で、合計4人が就業につながった。

教育

- Q** 図書館分室のそれぞれの経費は。
- A** 加美分室約198万円、富士見分室約219万円、川崎分室約230万円、小作台分室約398万円である。

- Q** 教職員のストレスチェックの受診率低下と結果の集団分析の活用をどう考えるか。
- A** 各学校から受診を促していく。集計結果の学校現場での活用を今後検討していく。

特別会計歳入・歳出

国民健康保険事業会計

- Q** ジェネリック医薬品利用率は72・1%だが、平成30年度の効果額と今後の見込みは。
- A** 効果額は約200万円。80%の達成を目指して啓発に努めていく。

区画整理事業会計

- Q** 公有財産購入費6393万9千円が不用額となっているが、理由は。
- A** 羽村駅前周辺の用地を購入予定であったが、2月まで権利者と交渉したが、不調に終わったため不用額となった。
- Q** 川崎1丁目周辺の高低差はどれくらいで、宅盤高の調整はどのようにするのか。
- A** 旧青梅街道と新奥多摩街道との高低差は約3メートルある。権利者の意向に沿って宅盤造成し、隣接家屋は話し合って調整していく。

下水道事業会計

- Q** 汚水管とマンホール蓋更新の進捗率は。
- A** 汚水管の内面補修工事は、632か所、253メートルを実施し、約40%完了した。マンホール蓋はJR青梅線以西地区内について100か所交換し、約半分完了している。

委員の意見(西口土地区画整理事業)

反対

西口土地区画整理事業は即刻見直すべき

広い道路を造るため、1000戸を取り壊す西口土地区画整理事業は、必要性、実現性、住民合意のいずれもが欠けており、即刻見直すべきである。工事の騒音や震動、移転の負担から市外に移転する人も出ている。東京地方裁判所の違法・取り消し判決を受けた事業計画であり、本決算の認定に反対する。

<世論>

賛成

本格的なハード整備で安全性が確保された

本格的なハード整備が始まり、一部の権利者の方は、換地先での新たな生活が始まっている。しらうめ保育園の新園舎が完成し、園児の送迎時の安全性が確保された。羽村駅西口駅周辺の駐輪場から駅舎までの歩道などは、非常に危険な状態のままであるため、工事中の箇所は一日も早く完成すべきと考え、本決算の認定に賛成する。

<新政会>

委員の意見(国民健康保険事業)

反対

保険税の負担を可能な額にすべき

平成30年度当初予算の審査時に、すべての課税基礎が上げられ、所得に対して保険税が高額になっているため反対した。行政の重要な役割は、保険税を負担が可能な額にし、安心して医療を受けられるようにすることである。

保険税の値上げを行い、市民に一層の負担を増やしたため、本決算の認定には反対。

<日本共産党>



川崎一丁目周辺の区画道路工事

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。会議録は議会終了後2か月程度でできあがります。
インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「平成30年度一般会計等決算審査特別委員会」

一般会計は6つの意見、国民健康保険事業会計は1つの意見、西口土地区画整理事業会計は2つの意見がありました。その他の会計については、賛成・反対の意見はなく全会一致で認定すべきと決定しました。